

佐藤典子舞踊生活 65 周年記念舞踊作品展



私はここにいる



出演

佐藤典子舞踊団

佐藤典子同門会付属バレエ教室

ゲスト出演

大柴タクマ (Alphact)

KATSU (Alphact)

大前 光市 (Alphact)

金刺わたる (Alphact)

中田 一史 (GENESIS ART COMPANY)

笹原 和哉 (GENESIS ART COMPANY)

奥野 晃士 (SPAC)

6.23 2013 **磐田市民文化会館**
関係者特別公演 11:00開演 一般公演 15:30開演

チケット発売3月28日より 入場料 3,000円(全席自由)

主催 佐藤典子同門会、クロスオーバーコンサート実行委員会
共催 磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会、静岡新聞社・静岡放送 主管 佐藤典子舞踊研究所
協力 磐田文化を考える会、磐田文化振興会、CPS放送制作
後援 静岡県、静岡県教育委員会、(財)静岡県文化財団、静岡県文化協会、磐田市教育委員会、社団法人 現代舞踊協会
社団法人 全日本児童舞踊協会、全日本洋舞協会

お問合せ 佐藤典子舞踊研究所 〒438-0086 静岡県磐田市見付1181 TEL&FAX<0538>34-1607
<http://www11.plala.or.jp/ns-dance/>



佐藤典子舞踊生活 65 周年記念舞踊作品展

佐藤典子舞踊生活 65 周年記念舞踊作品展

「私はここにいる」によせて

演出家 児玉 道久

オープニング

第1部

証城寺のためきばやし
ちゃっきり節幻想曲
セレブレーション〜讃 歌〜

第2部

金絲雀 (カナリヤ)

〜太陽神と白鳥座〜

アポロンとフェートのものがたり

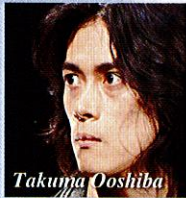
65周年を迎える佐藤典子先生の舞踊活動は、日本における現代舞踊の黎明期を代表する舞踊家、石井小浪への師事から始まった。師の教えを受け継ぐその作風は、「舞踊詩」と呼ばれる抒情性や品格の高い作品群に加えて、現代の抱える大きな課題に鋭く切り込む「劇的」「躍動的」な作品群まで幅広い。

このたび、「65周年記念舞踊作品展」として新旧多彩な作品を上演する。まず、ジュニアクラスによる「オープニング」に続いて、師石井小浪の80年前の作品をリメイクした「証城寺のためきばやし」を初め「ちゃっきり節幻想曲」「セレブレーション〜讃歌〜」と代表作が続いたのち、ゲストダンサーに大前光市を迎えた衝撃的な作品「金絲雀（カナリヤ）」、共同振付に大柴タクマを迎えギリシャ神話を題材とした新作「アポロンとフェートのものがたり」とつなぐ。

男性の舞踊家も数多く参加するこの記念作品展は、近年、さらに幅広くネットワークを拡大した佐藤典子先生の、現代（いま）の舞踊活動の集大成といえよう。

ゲストダンサー

Alphact



大柴タクマ (おしば・たくま)

フランス国立バリ・オペラ座バレエ団に日本人男性として初めて契約したバレエダンサー。その後、フランス国立ホルダー・オペラ座バレエ団と契約、活動。帰国後は、トータルアートカンパニー Alphact を設立する他、様々なジャンルの舞台公演、CMなどに出演。多数のコンクール受賞歴を持つ。ベジュアルダンサー・小林十市との共演「ファウス・メフィスト」では、演出・振付家としても各方面より絶賛を博す。実験的アーティスト集団 Alphact (アルファクト) 主宰



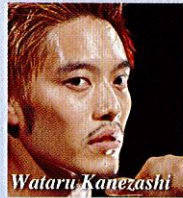
KATSU (かつ)

ドイツ世界大会で、「世界2位」という偉業を成し遂げたブレイクダンサー。また自身が所属するRockバンド「1.G.K」では、Vocal、Programmingなどを担当。LINK PARKのRemixコンテストで受賞するなどミュージシャンとしても活動している。



大前光市 (おおまえ・こういち)

大阪芸術大学舞踊コース卒業、交通事故により左足膝下を切断。コンタクトインプロビゼーション、モダンダンス、ストリートダンス、ヨガ、日舞のテクニックを学び、自身の動きに反映させる。独自の動きをするコンテンポラリーダンサーとして活動し、ダンスの振り付け、指導の他、セルフイメージを高めるアドバイザーとして小中学校での講演等も行う。



金刺 わたる (かねざし・わたる)

東京シティーバレエ団にて特待生として在籍した後、コンテンポラリーダンスをH・アール・カオスで学ぶ。2007年、ダンサーとして本格的に始動し、その後様々な作品やイベントに参加。現在は、トータルアートカンパニー Alphact (アルファクト) を中心に、活動の幅を広げている。

GENESIS ART COMPANY



中田 一史 (なかた・かずふみ)

2000年ミラノ・スカラ座バレエ学校卒業。その後、ノルウェー国立バレエ団、トスカナ州立バレエ団、チリ・サンティアゴ市立歌劇場バレエ団で活動。2007年に帰国し、神戸を拠点に活動。バレエ、コンテンポラリー等ジャンルに囚われない活動を展開する一方、振り付けの提供や公演のプロデュースも手掛ける。また、後進の育成にも力を注いでいる。GENESIS ART COMPANY 主宰。

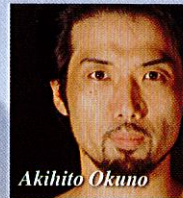


笹原 和哉 (ささはら・かずや)

20歳よりモダンバレエを始める。2006年から3年間、英国Kate Simmons Danceに留学。帰国後、関西でコンテンポラリーダンスを中心に活動中。FTPマツビルティスインストラクター資格所持 GENESIS ART COMPANY所属

ゲストアクター

SPAC



奥野晃士 (おくの・あきひと)

2000年よりSPAC-静岡県舞台芸術センターの専属俳優。主な出演作品に、鈴木忠志演出「イワノフ」(チェーホフ作)(イワノフ役)、宮城聡演出「夜叉ヶ池」(泉鏡花作)(山沢学内役)など。一流音楽家と共演し、文学作品を使って独自のパフォーマンスを展開する「動説(どうとく)」も好評。その他、「リーディング・カフェ・ツアー」の立案、WSの講師等、SPACアウトリーチ活動の草分けとして、「会いに来てくれる俳優」を自負し、舞台以外の活動も積極的に展開している。

私はここにいる